

知的生産性研究委員会 研究ロードマップ

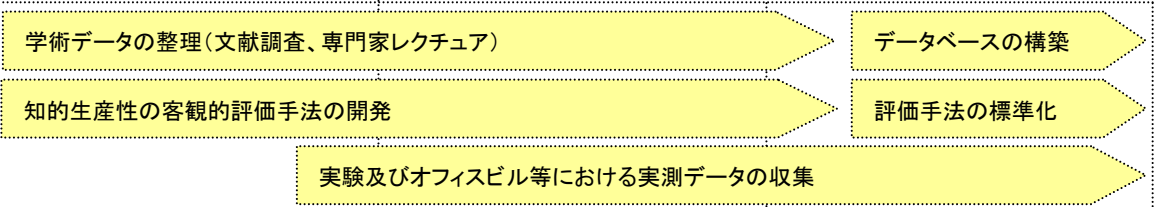
知的生産性研究委員会

背景・目的 2007 2008 2009 2010以降の展開 (年度) →

▼ 8/24 第1回 ▼ 検討の方向性の整理 3/17 第2回 ▼ 評価の枠組みの整理 3/19 第3回 ▼ 成果の取りまとめ 3/25 第4回 継続的に研究

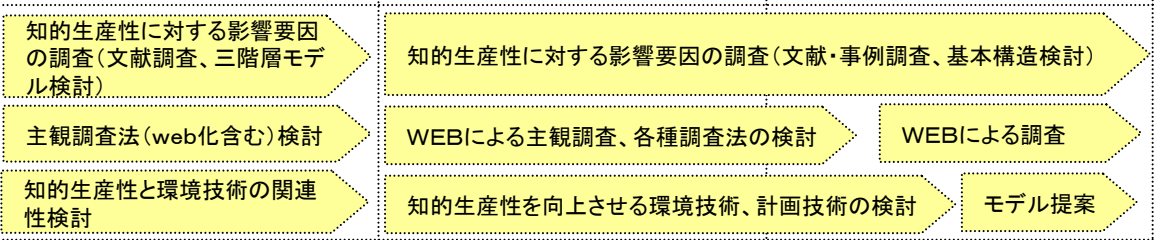
① 基礎研究部会

- 知的生産性向上のためには物理的環境が人間の生理、心理に及ぼす影響の把握が必要。
- 主として環境・設備により作り出された物理環境が知的生産性に及ぼす影響を生理/心理的な側面から評価する方法に関して検討を行う。



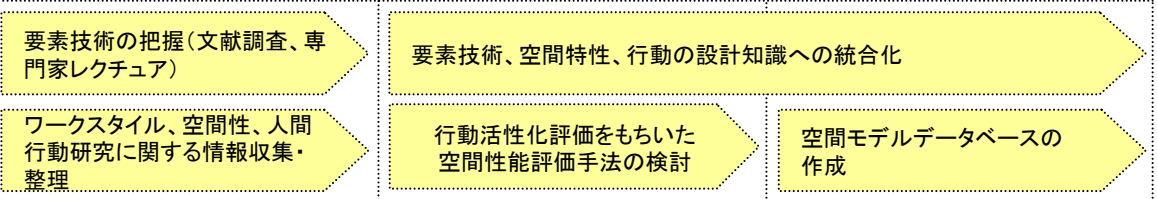
② 環境・設備部会

- 知的生産性向上のためには空気環境や温熱環境などの物理的環境に対する十分な配慮が必要。
- 主として主観的な側面から環境・設備計画が知的生産性に及ぼす影響を検討し、基礎研究部会の検討結果も踏まえて知的生産性を高める環境・設備計画のあり方を検討する。



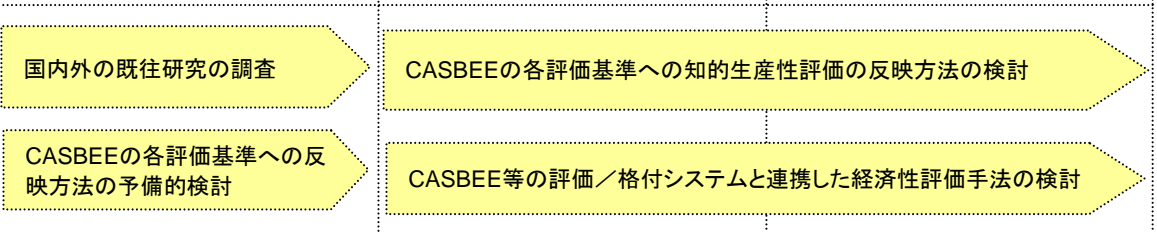
③ 建築空間部会

- 知的生産性に関する基礎的研究の成果を具体的な建築空間に反映させたワークプレイスの計画方法の研究をおこなう。
- 設計に向けた設計知識の収集・空間の提案、ファシリティマネジメント方法の研究を行う。



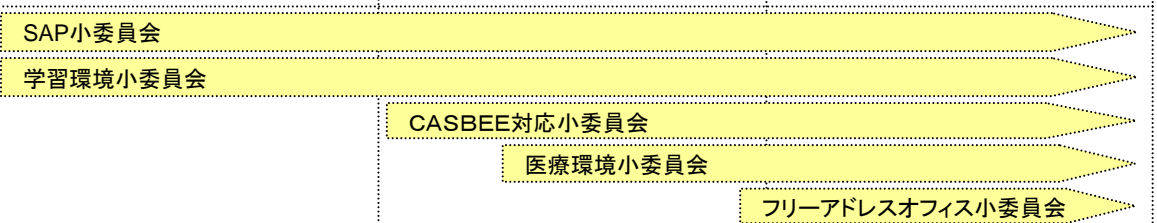
④ 経済性評価と格付部会

- 個人および組織総体としての知的生産性向上に関する国内外の既往研究を調査する。
- CASBEEの各評価基準への知的生産性評価の反映方法を検討する。
- CASBEE等の評価/格付システムと連携した経済性評価手法を検討する。



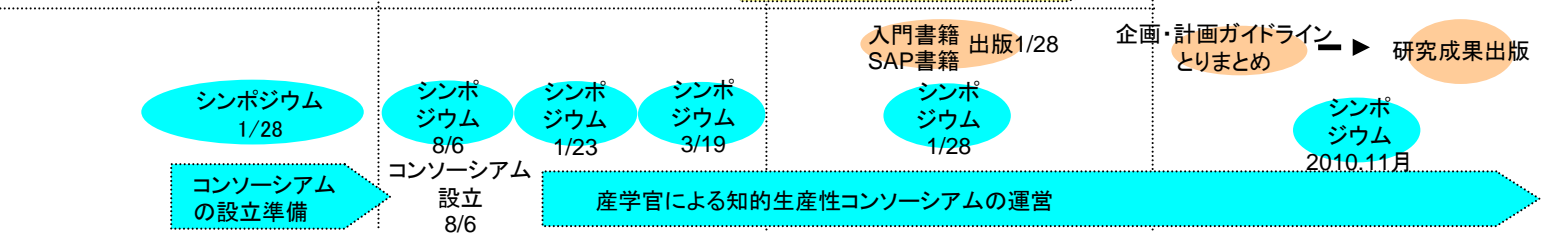
⑤ 応用部会

- 各部会の活動の中で出てくる成果をより具体の技術や施策に展開するための取り組みを行う。
- 部会横断的なテーマをとりまとめて効果的に推進する。



普及推進委員会

- 広報と成果の普及のための活動を企画・実施する。例えば、各部会の活動状況と成果の報告、知的生産性全般に係る広報のためのシンポジウム等を行う。
- 各部会の活動を支援するための調査等を企画・実施する。
- コンソーシアムの設立・運営を行う。



企画・計画ガイドライン 取りまとめ → 研究成果出版

シンポジウム 2010.11月